Creative Enzymes®

ネイティブ豚心乳酸脱水素酵素

Cat. No. DIA-206

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	乳酸脱水素酵素（LDHまたはLD）は、ほぼすべての生物細胞（動物、植物、原核生物）に存在する酵素です。LDHは、ピルビン酸を乳酸に□換し、再び乳酸をピルビン酸に□す反□を触媒します。この過程で、NADHをNAD+に□換し、再びNAD+をNADHに□します。脱水素酵素は、ある分子から別の分子に水素原子を移動させる酵素です。
用途	この酵素は、ATP、ADP、グルコース、クレアチニン、ピルビン酸、乳酸、グリセロールなどの多くの代謝物の酵素的測定や、関連する酵素と結合した場合の酵素活性（例：GPT、PK、CPK）の測定に役立ちます。
別名	乳酸脱水素酵素; EC 1.1.1.27; LDH; LD

製品情報

種	豚の
由来	豚の心臓
外□	1.6M 硫酸アンモニウム溶液中の結晶性懸濁液
EC番号	EC 1.1.1.27
CAS登□番号	9001-60-9
分子量	115 kDa±6,500
活性	グレードⅡ 2,000U/ml以上
混入物	マレート脱水素酵素 < 5.0×10⁻²% ピルビン酸キナーゼ < 3.0×10⁻²% GPT < 3.0×10⁻²%
pH安定性	pH 6.0-8.0（23°C、22時間）
最適pH	6.0-7.4
熱安定性	50°C未□（pH 7.4、10分）
最適温度	60°C以上
ミカエリス定数	2.5×10⁻²M（乳酸）、1.0×10⁻⁴M（ピルビン酸）
阻害剤	I^-, Ag^+, Hg^{++}, p-クロロ水銀ベンゾエート, LDH阻害剤（NADHから形成される）
安定化剤	NADH、2-メルカプトエタノール

保管・発送情報

安定性	5°Cで少なくとも1年間安定しています